

今、学童～高校球児に 伝えたいこと

段階的障害予防とパフォーマンス向上

講師

門間 太輔 (北海道日本ハムファイターズ チームドクター)
北海道大学病院 スポーツ医学診療センター 副センター長

牧谷 宇佐美 (元東京ヤクルトスワローズ)
一般社団法人Next Creation Japan 代表理事

山田 翔太 (理学療法士)
あさひかわ整形外科・スポーツクリニック

日時

令和7年1月25日(土) 14:00～16:00

会場

旭川市大雪クリスタルホール 大会議室

個人申込用

団体申込用

右のQRコードよりお申し込みください
締め切り：令和6年12月31日まで



参加無料

お問い合わせ



門間 太輔 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター

【略歴】

1998年 千葉県立佐倉高等学校卒業
2007年 北海道大学医学部医学科卒業、同整形外科入局、釧路労災病院初期研修
2009年 北海道大学病院
2010年 製鉄記念室蘭病院
2011年 函館中央病院
2012年 北海道大学病院
2016年 北海道大学大学院医学研究科博士課程卒業
2017年 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター 助教
2019年 RUSH University Research Fellow
2020年 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター 副センター長

普段は北海道大学病院スポーツ医学診療センターで整形外科医として勤務。専門分野は肩・肘の投球障害。2010年からNPO法人 北海道野球協議会の医科学部会の活動の一環として「北海道野球肘検診」がスタート。この活動は2022年度 運動器の健康・日本協会で運動器の健康・日本賞を受賞。また、北海道で野球をしている高校・大学生、社会人、シニアの選手やチームに請われて指導や検査を行うほか、北海道日本ハムファイターズのチームドクターも務める。



牧谷 宇佐美 一般社団法人Next Creation Japan

【略歴】

1998年:旭川実業高等学校卒業、ヤクルトスワローズから2位指名を受ける(1999年—2009年)
2010年:(株)北海道日本ハムファイターズ入社(ベースボールアカデミーグループ配属)
2019年:NPO法人北海道野球協議会へ出向
2022年:(株)スポーツ&エンターテイメント退職
2023年:一般社団法人 Next Creation Japan設立(代表理事)
2023年:株式会社小鍛冶組 外部取締役
2024年:NPO法人アスアスラボ 理事長就任
2024年:一般社団法人 レディースベースボールクラブ北海道 代表理事就任
2024年:一般社団法人SLDI 岩見沢オニオンズ特別コーチ就任

プロ野球生活(11年間)とアカデミーコーチ(10年間)で培った経験と知見を活かし、子どもたちの将来に対して真剣に向き合い、スポーツから派生する貢献を掲げ、様々な活動にあたる。



山田 翔太 あさひかわ整形外科・スポーツクリニック

【略歴】

2014年:旭川龍谷高等学校 硬式野球部(主将)卒業
2018年:北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科卒業
2018年:医療法人 回生会 大西病院、旭川龍谷高等学校 硬式野球部 トレーナー
2023年:医療法人 蒼雪舎 あさひかわ整形外科・スポーツクリニック

【保有資格】

・理学療法士
・全米ストレングス&コンディショニング協会(NSCA)認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS)

普段はあさひかわ整形外科・スポーツクリニックで理学療法士として勤務。また旭川龍谷高校野球部のトレーナーや高校野球サポート等、野球に携わる様々な活動にあたる。



<趣旨>

近年野球においては学童期からの障害予防が重要とされており、実際に肘検診や球数制限などの活動が行われるようになっていきます。また一方で、自分のパフォーマンスを上げ、より良いプレーをしたいと考えている球児も多いのではないのでしょうか？

今回、野球に関わっている3名の方をお招きしました。障害予防とパフォーマンスの向上について、この機会に改めて学んでみませんか？

～タイムスケジュール～

13:30～14:00	受付
14:00～14:05	大会長挨拶
14:05～14:25	山田翔太氏 講演
14:25～14:45	牧谷宇佐美氏 講演
14:45～15:25	門間太輔氏 講演
15:25～15:35	休憩
15:35～16:00	シンポジウム